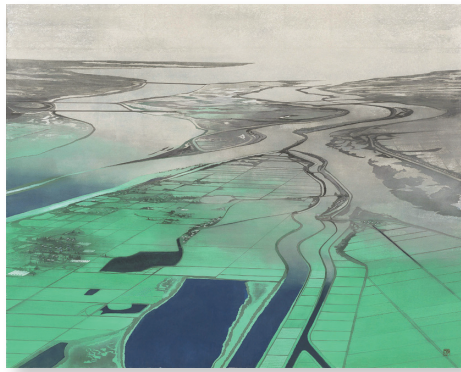


# 美術館コレクション 80



たにおちしお  
田淵俊夫 (1941- )  
《濃尾三川》  
1979年 紙本着色

6月9日(土)からの  
常設展で紹介!

蛇行しながら海へと注ぐ川とその恵みを受ける大地。よく見るとビニールハウスや家々が点在しており、現代の田園風景が広がっています。田淵は1970年から15年間、愛知県立芸術大学で教えながら、東海地区をはじめ、奈良県や中国などの風景や草花を描きました。その頃の作品である本作は、実際にセスナ機で取材したもので、木曾川、長良川、揖斐川の河口付近を繊細な線と透明感のある色彩で描き出しています。

美術館 ☎23-1636

# 歴史散歩 224



## 本刈谷貝塚出土品

天王町の本刈谷神社境内にある本刈谷貝塚は、今から約3千年前の縄文時代晩期の貝塚で、愛知県の史跡に指定されています。貝塚からは多くの出土品があり、「元刈谷式」と名付けられた縄文土器をはじめ、矢じりや斧などの石器、動物の骨や貝で作られた道具や装飾品など、合計182点が昭和49年に県指定有形文化財になりました(写真右)。なかでも一度埋葬された人骨を掘り起こし、四角く組んで埋葬し直した「盤状集骨墓」(写真左)は、この時代の三河湾沿岸に見られないもので、学術的に大変貴重なものです。

～31年3月、逢妻町に  
刈谷市歴史博物館が開館します～

# かりやの風景 188

## 刈谷駅前交番がリニューアル(桜町)

刈谷警察署刈谷駅前交番が老朽化のため建て替えられ、今年4月2日から運用を開始しました。4月27日には開所式が行われ、新しくなった交番の開所を祝いました。

1階にはコミュニティルームが設置され、警察官と地域住民の交流や被害者対策に配慮されています。また2階には、女性専用の休憩室やトイレが設置され、女性の職場環境の向上を図っています。

市民の安心・安全を見守り、地域に密着した拠点として期待されます。

